



い け だ

小豆島町立池田小学校

令和元年 7月 19日

学校だより 第5号

「勝ち負けなんかちっぽけなこと。
大切なのは本気だったかどうかだ。」

がんばった1学期 松岡修造さんの言葉より



プールでは水泳練習。何本ものダッシュに負けそうになる自分と闘っている瞬間。教室の扉を開けると、競書会の手本とにらめっこして清書作りに汗を流す瞬間。算数では、どうやって問題を解くのか、頭を寄せ合って真剣に考えを伝え合う瞬間。主人公の気持ちがどこでどう変化したのか、文章にまっすぐ立ち向かう瞬間。一生懸命やったはずのテストで間違っていたと分かって、必死で「こうだよ」と自分に言い聞かせ、答え直しをする瞬間。子どもたちの成長を感じ取ることができる尊い瞬間です。1学期間、学校のあちこちで、こんな瞬間に出会うことができました。入学式から始まった1学期。季節は夏真っ盛り。子どもたちも日焼けしていい色になっています。

上記の言葉「勝ち負けなんかちっぽけなこと。大切なのは本気だったかどうかだ。」は、元プロテニスプレイヤー、松岡修造さんの言葉です。子どもたちは1学期、いろいろなことにがんばりました。時には、上手いいかないこともあったかもしれませんが、しかし、それでもあきらめずに取り組む子どもたちの本気の中に、自分と向かい合い信じる気持ち、諦めない気持ち、集中する心地よさ、なかまと競い合う喜びがありました。子どもたちには、いろいろな学びの中の壁を一つずつ乗り越えて、おもしろさや価値を見つけて本気になれる。そんな人になってほしい、そう願っています。

～がんばれ「チーム池田」・水泳記録会～

小豆郡小学生水泳記録会が7月22日に土庄小学校で行われます。本校5年生19名、6年生22名が出場します。5月27日から全員で始めた水泳練習。ストリームラインを保ち、キック、プル、コンビネーション練習、インターバル練習、飛び込み練習、ダッシュ……。始めたころは寒くてふるえながら泳いでいた子どもたち。今は、さんさんと降り注ぐ太陽光線の中、真っ黒に日焼けした子どもたちは精悍な顔つきとなり、自信をもって泳いでいるように見えます。惜しくも選手に選ばれなかった子たちも一生懸命に練習していたことをみんなが知っています。「チーム池田」として、池田っ子全員で応援しています。7月19日には壮行会を行い、全校生が選手を激励しました。

